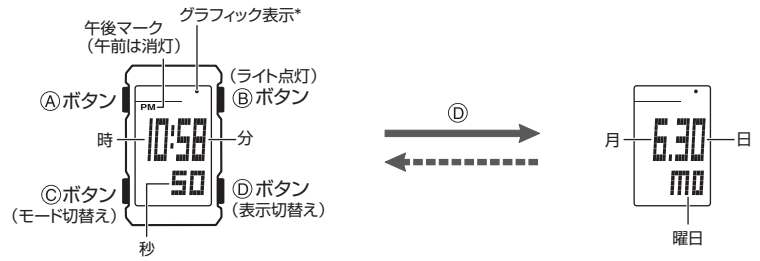
Operation Guide 3128

CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモードのまま２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



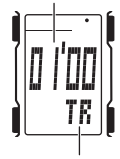
★「月・日・曜日」の確認
Ⓓボタンを押すと、「時・分・秒」が「月・日・曜日」に切り替わった後、約１秒で「時・分・秒」に戻ります。

★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

* グラフィック表示については、「グラフィック表示について」をご覧ください。

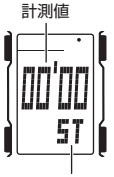
Ⓒ

タイマーモード



Ⓒ

ストップウオッチモード



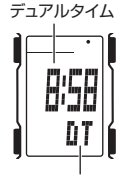
Ⓒ

アラームモード



Ⓒ

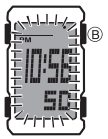
デュアルタイムモード



Ⓒ

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すと、ライトが点灯します（約 1.5 秒間）。



ご注意
- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音の ON ／ OFF 設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

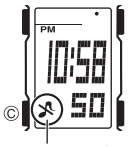
Ⓒボタンを約3秒間押し続けます

➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。

※操作音を OFF にしているときは、MUTEマークが点灯します。

※操作音がOFFでも、アラーム音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

※この操作を行なうと、モードが切り替わってしまいます。操作終了後に、Ⓒボタンを押して使用するモードに切り替えてください。



MUTEマーク

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、１つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



<Bタイプ>



グラフィック表示について

グラフィック表示の点灯／消灯のしかたは、下記の通りです。



モード	グラフィック表示
• 時刻 • デュアルタイム	現在時刻の秒に連動して点灯／消灯します（1秒単位）
• タイマー	計測中に点灯／消灯します（1秒単位）
• ストップウオッチ	計測中に点灯／消灯します（1/10秒単位）

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい©ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で 60 分までセットできます。
セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10 秒間電子音が鳴ります。また、電子音に合わせてライトが点滅します。

■ タイマー時間のセット

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを押します



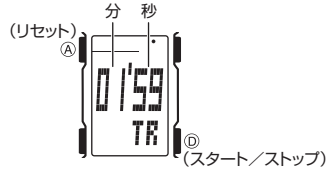
➡ Ⓐ ボタンを押すごとに１分ずつ進みます。
※Ⓐボタンは、押し続けると早送りします。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★計測を、一時、中断したいときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度Ⓓボタンを押してください。そのとき表示されている表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

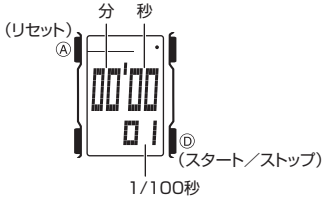
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測終了後 Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい©ボタンを押し、アラームモードにします。

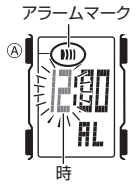
設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。
また、電子音に合わせてライトが点滅します。

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

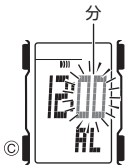
Ⓐボタンを約１秒間押し続けます



➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. セット箇所を選ぶ

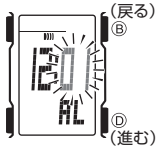
Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順*2.*～*3.*の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」をセットするときは、「午前と午後（PM 点灯）」や「24 時間制」にご注意ください。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームのON／OFF設定

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。
※ アラームをONに設定すると、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。
なお、アラームマークは、OFFに設定するまで、他のモードに切り替えても点灯したままになり、アラームが鳴る設定になっていることを教えてくれます。



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■ アラーム音（電子音）を試聴する

アラームモードのセット中（表示点滅）以外の状態でⒹボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

デュアルタイムの合わせ方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムには、現在時刻とは別の時刻（海外旅行先の時刻など）をセットできます。

※デュアルタイムの「秒（表示はされません）」は、時刻モードの時刻の「秒」に連動しています。

※デュアルタイムの「時」および「分」は、時刻モードの時刻には連動していません。
時刻モードの時刻を修正した場合は、必要に応じてデュアルタイムの時刻を修正してください。

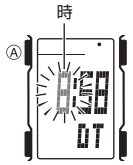
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、デュアルタイムの時刻も 24 時間制で表示されます。

■デュアルタイムの合わせ方

1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

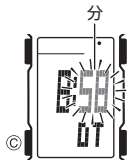


➡「時」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. セット箇所を選ぶ

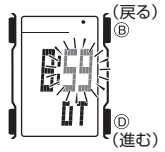
Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 2.～3. の操作を繰り返して、デュアルタイムをセットします。

※「時」をセットするときは、「午前と午後（PM 点灯）」や「24 時間制」にご注意ください。

※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、デュアルタイムの時刻も 24 時間制で表示されます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

時刻・カレンダーの合わせ方

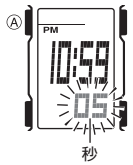
以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

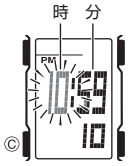


➡「秒」が点滅します。

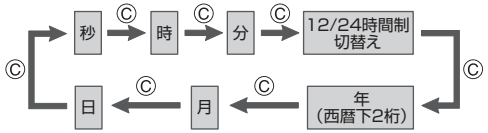
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

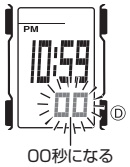
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ または Ⓑ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「秒」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すと「00 秒」からスタートします。

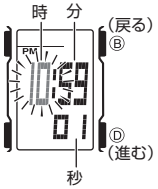
※秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30～59のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）

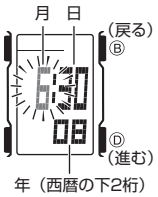


b.「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。





Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

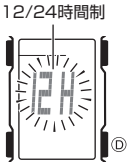
※「時」をセットするときは、「午前と午後（PM 点灯）」や「24 時間制」にご注意ください。

※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

c.「12/24 時間制切替え」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。